

システマティック・タイポグラフィについての研究

1:デザイン教育の現場から

造形短期大学部
造形芸術学科
講師

石崎 幸



研究シーズの紹介

デザインを学ぶ為には、デザインの前提としてプロポーショナル(比率や割合)について知ることが基本だが、実際にそれをよく生かしているとはいえないだろう。プロポーショナルの良し悪しは、当たり前人間に内包された感覚を伴うことから、それはいつの間にかセンスという言葉にまとめられているからだと考えられる。

そこで、デザインの構成要素や要素同士の関係性が全体に与える影響は論理的に説明が出来るという基本に立ち返り、学生が建設的にデザインをする一助として、デザイン論理のひとつであるプロポーショナルに焦点を当てること、さらにアクティブラーニング型授業の実施により、質の高いデザイン教育への相乗効果を図った。



基本的プロポーショナルを用いる

- イメージを形にするアイデアスケッチの段階で、いくつかの比率(1:1, 1:1.618, 1:2など)を提示しバランスを整えるよう促すことで、デザインのクオリティとスピードを高める。



Think-Pair-Share

- 自分の考えを明確にし、他社の意見と対比しながら考えを深めていく、アクティブラーニング型を取り入れることで、デザイナーに必要な素地を意識する。

例) 実習授業「タイポグラフィ基礎」の場合の手順

タイポグラフィ基礎	課題:「春夏秋冬」イメージを形にするトレーニング	※ プロポーショナルの提示やアドバイスは⑤,⑥,⑦の時点で適宜行う
------------------	--------------------------	-----------------------------------

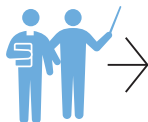
- ① 「春夏秋冬」のイメージを文字でおこす [50ワードを目指す] (四季, 1年間, あたたかい〜さむい など 短い文章でも良い)
- ② 多くのワードの中から、特に自分のイメージに近いワードを一割程度まで絞り込む
- ③ 選んだワードを抽象的な言葉に近づける
- ④ ワードをそれぞれ形に変換する

- ⑤ 部分の形を組み合わせたり、省いたりしながら、全体の形をデザインする **[Think]**
- ⑥ ペアを組み、各々のデザインについて意見交換を行う **[Pair]**
- ⑦ 形を整える作業
- ⑧ デザインを完成させて、発表する **[Share]**
- ⑨ その後何か気づいた点があれば、修正を加える
- ⑩ データ化して完成



期待される活用シーン

● [グラフィックデザイナー]
デザインを説明しようにも感覚でやっちゃってるからなあ。



デザインは論理的なものです。デザインの前提や基本に立ち返りましょう。

● [デザインを学ぶ学生]
どうやったらデザインセンスを得ることが出来ますか?



所謂センスと呼ばれる感覚は理論を学ぶことで磨くことが出来ます。

その他の研究テーマ

- ・ 景観の中におけるサイン 一色彩についての研究
- ・ タイポグラフィのプロポーショナルに関する考察